

(別添)

2019年1月24日

NITE(ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
九州支所

## News Release

### 5年で2倍以上に！リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故(九州・沖縄8県版)

～モバイルバッテリーは購入時にPSEマークを確認しましょう～

モバイルバッテリーを筆頭に、リチウムイオンバッテリーを搭載した様々な製品で事故が発生しています。

2013年度から2017年度の5年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報<sup>\*1</sup>では、リチウムイオンバッテリーを搭載した製品(以下「LiB製品」<sup>\*2</sup>という。)の事故は九州・沖縄8県で43件<sup>\*3</sup>ありました。事故の被害状況を見ると、43件のうち、31件(72%)が火災を伴っています。また、LiB製品の事故の原因は、調査中の2件を除く41件のうち、製品の不具合によるものが30件(73%)と最も多くなっています。30件のうち17件(57%)はリコール対象製品によるものであり、回収や交換、情報の周知などが適切に行われていれば防げた事故も多いと考えられます。

モバイルバッテリーの事故の多発を踏まえ、経済産業省は2018年2月1日、通達「電気用品の範囲等の解釈について」を改正し、モバイルバッテリーを電気用品安全法の規制対象として取り扱うこととしました。事業者における対応の準備期間として、施行日より1年間を経過措置期間とし、この間はこれまでの取扱いによることもできるとしていましたが、来る2019年1月末日をもって経過措置期間が終了いたします。2019年2月1日以降は、基準に適合した製品でなければ販売を行えなくなります。

モバイルバッテリーの規制に関する経過措置期間の終了を目前に控えたこの時期に、またLiB製品による事故は年々増加しているため、注意喚起を行います。

LiB製品による事故の特徴のひとつとして、リコール製品による事故が多く発生しているため、まずはリコール情報を確認してください。

また、誤った使い方による事故も発生しているため、取扱いには十分に注意して事故を未然に防ぎましょう。

#### ■事故を防ぐためのポイント

- お手持ちの製品がリコール対象かどうかを確認し、リコール対象の場合は不具合が生じていなくても速やかに使用を中止し、購入した販売店や製造・輸入業者に相談する。
- 製造事業者や輸入事業者が確かな製品を購入する。
- LiB製品は丁寧に扱う。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) 本資料では持ち運び可能なリチウムイオンバッテリー(いわゆる携帯充電器、パワーバンク)のことを「モバイルバッテリー」、スマートフォンやノートパソコン用の組電池のことを「バッテリーパック」、バッテリーパックを構成する単電池を「セル」と呼びます。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

## 1. 事故の発生状況

### (1) 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 年度別 事故発生件数

図1に九州・沖縄8県における「年度別 LiB製品の事故発生件数」を示します。LiB製品の事故は、2013年度から2017年度までの5年間で計43件の発生しています。火災事故は毎年発生しており、2014年度以降事故発生件数のうち火災事故の占める割合は78%を超えています。

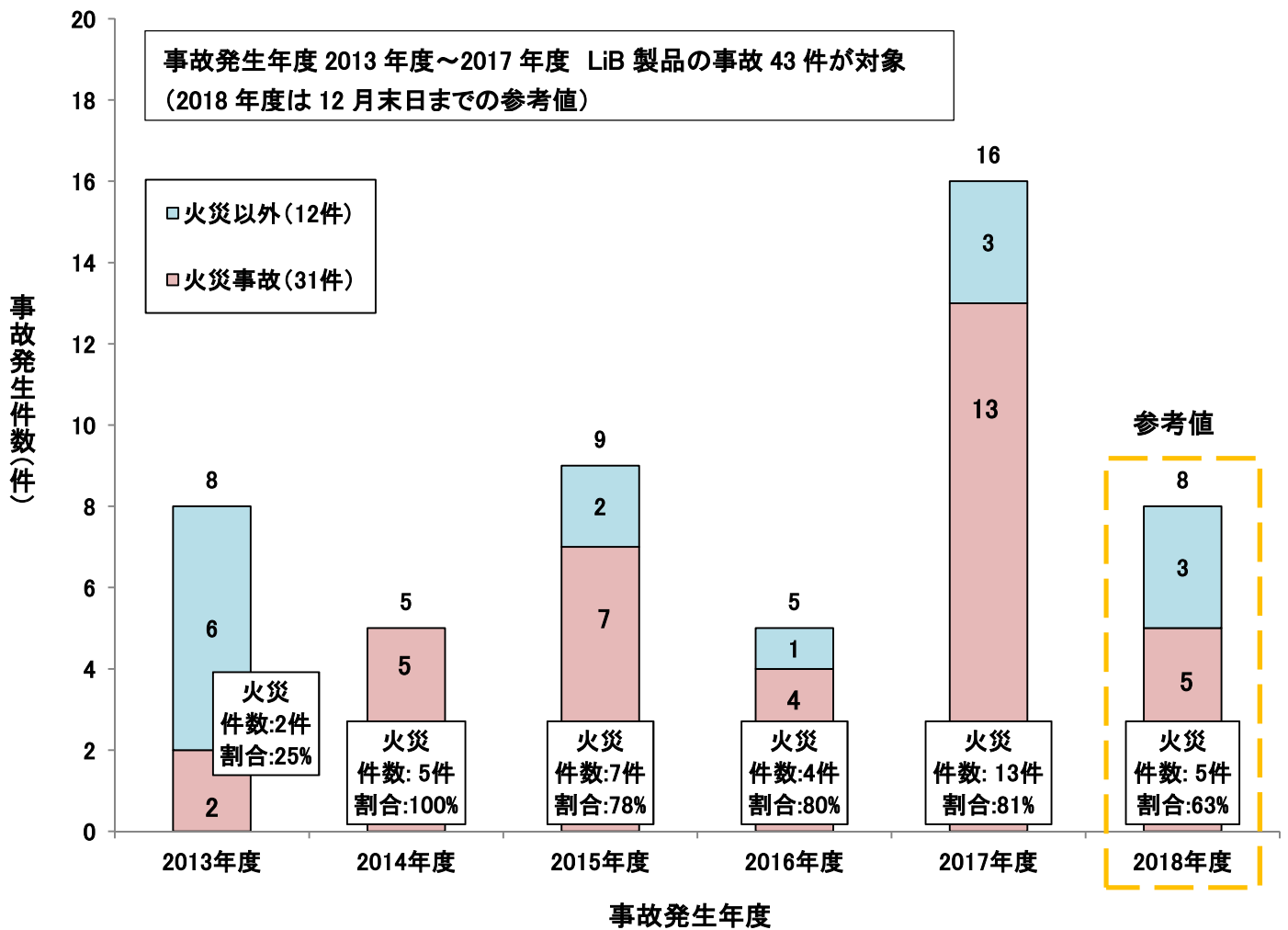


図1:九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 年度別 事故発生件数

(2) 九州・沖縄8県における LiB 製品の事故 製品別 事故発生件数

図2に九州・沖縄8県における LiB 製品の事故の「製品別 事故発生件数」を示します。

モバイルバッテリーの事故が最も多く発生し、次にスマートフォン、ノートパソコンの事故が多く発生しており、モバイルバッテリーは 13 件のうち、12 件(92%)で火災が発生しています。

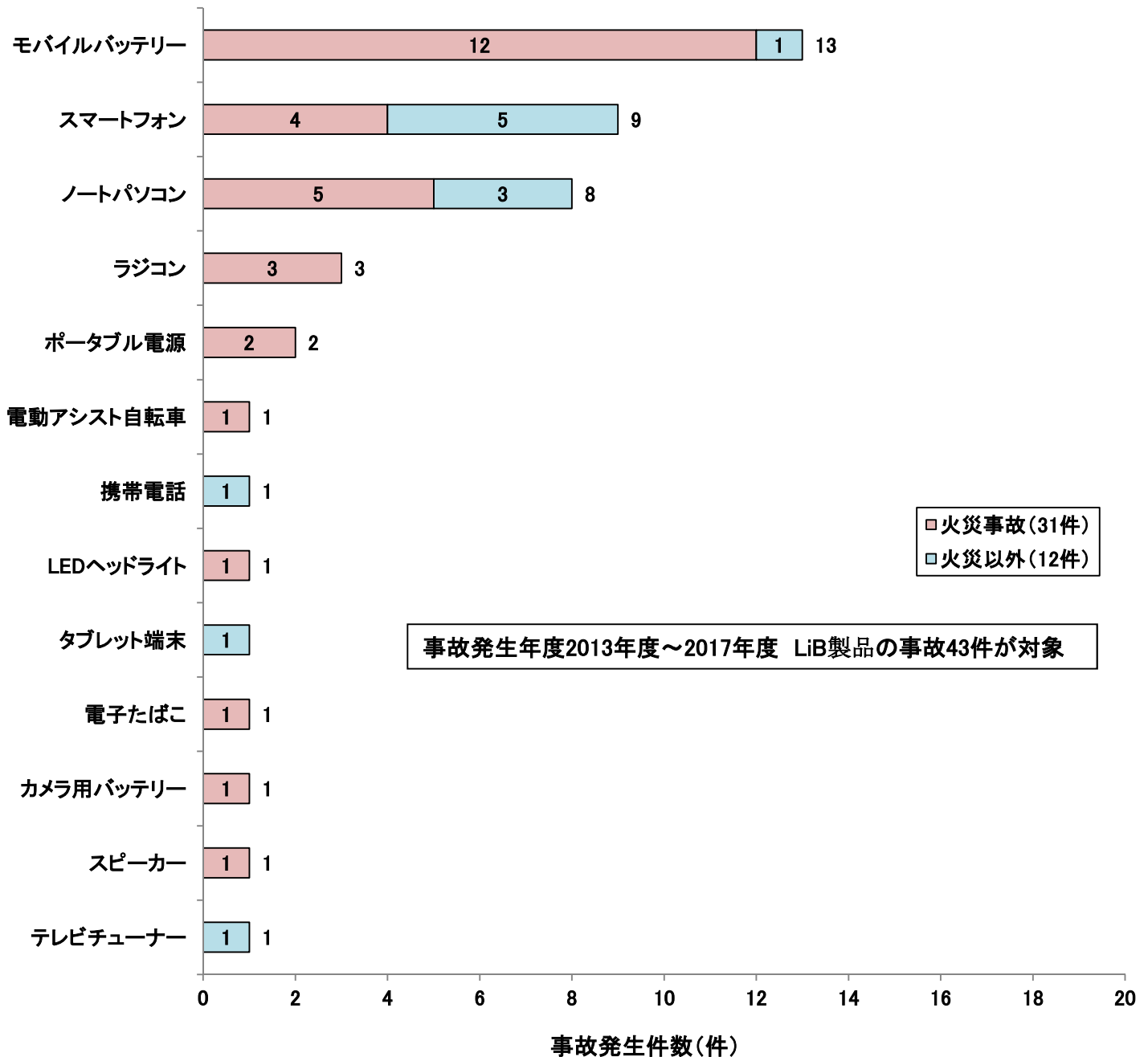


図2:九州・沖縄8県における LiB 製品の事故 製品別 事故発生件数

### (3) 九州・沖縄8県における LiB 製品の事故 事故原因区分別 事故発生件数

九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故43件について、図3に「事故原因区別 事故発生件数」を示します。

事故原因区分(全国版プレスリリース別紙1参照)に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故(事故原因区分A、G3) 30件(70%)
- 原因不明のもの(事故原因区分G3を除くG) 11件(25%)
- 調査中のもの(事故原因区分H) 2件(5%)

の比率となっています。

製品に起因する事故が30件(70%)発生しています。主な要因はバッテリーセルの内部短絡により異常発熱して出火したなどです。

事故発生年度 2013 年度～2017 年度 LiB 製品の事故 43 件が対象

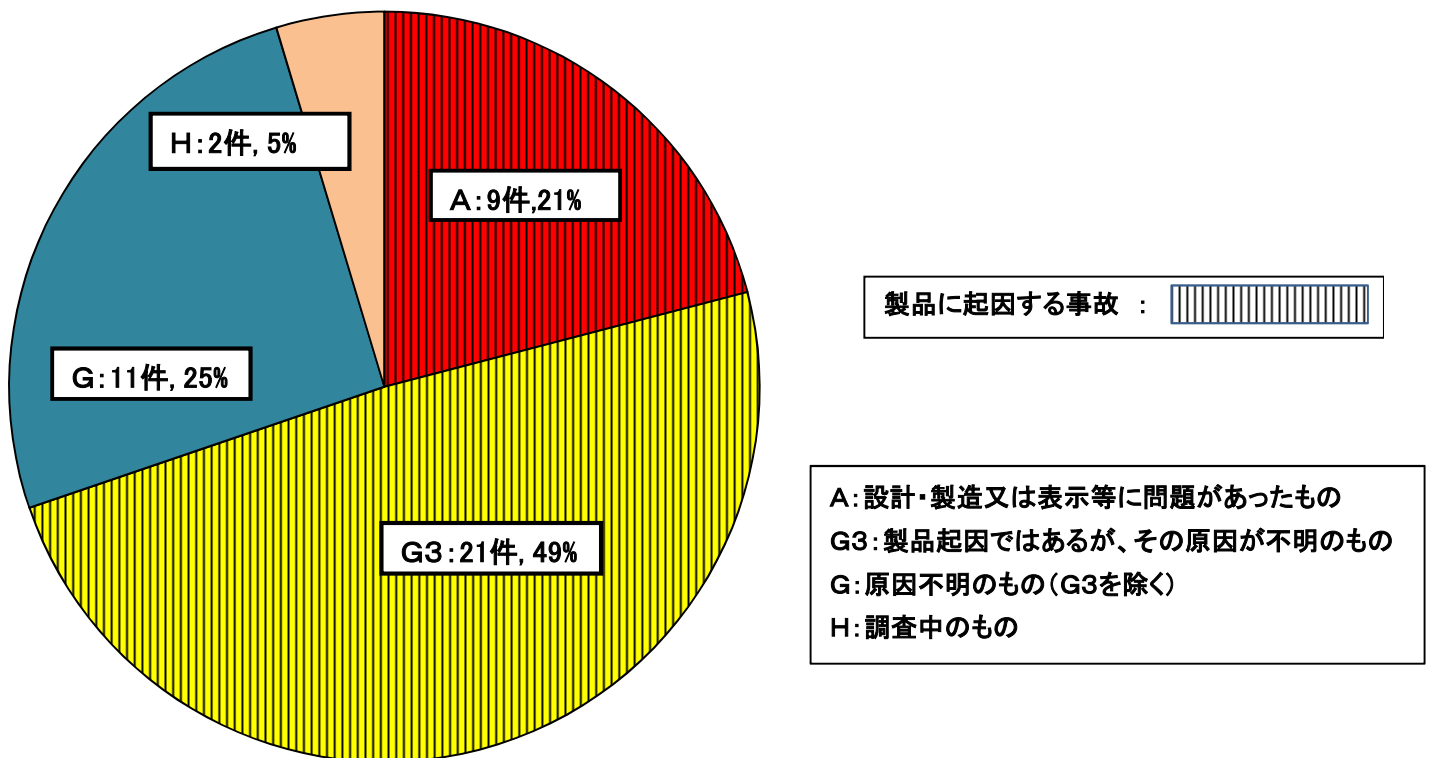


図3:九州・沖縄8県における LiB 製品の事故 事故原因区分別 事故発生件数

(4) 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数

表1に九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故「原因区分別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

表1:九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数※4

被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A:設計、製造又は表示に問題があったもの				9 [6]			9 (0) [6]
	G3:製品起因ではあるが、その原因が不明のもの			1 (1) [1]	17 [12]	3 [2]		21 (1) [15]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	0 (0) [0]	1 (1) [1]	26 (0) [18]	3 (0) [2]	0 (0) [0]
製品に起因しない事故								
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]
G:原因不明のもの(G3を除く)		0 (0) [0]	0 (0) [0]	1 (1) [1]	9 (0) [8]	1 (0) [0]	0 (0) [0]	11 (1) [9]
H:調査中のもの		0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	2 (0) [1]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	2 (0) [1]
合計		0 (0) [0]	0 (0) [0]	2 (2) [2]	37 (0) [27]	4 (0) [2]	0 (0) [0]	43 (2) [31]

(※4) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害にはカウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(5) 九州・沖縄8県における LiB 製品のリコール対象製品による事故発生件数

図4に九州・沖縄8県における LiB 製品の「リコール対象製品<sup>※5</sup>による事故発生件数」を示します。

LiB 製品の事故 43 件のうち、事業者が製品の交換や回収などのリコールを行っているものは 17 件 (40%) あります。

リコール対象製品のうち、リコール開始後に事故が発生したものは 7 件 (41%) であり、リコール情報を把握していれば事故を防げた可能性もあるため、リコール情報は積極的に確認しましょう。

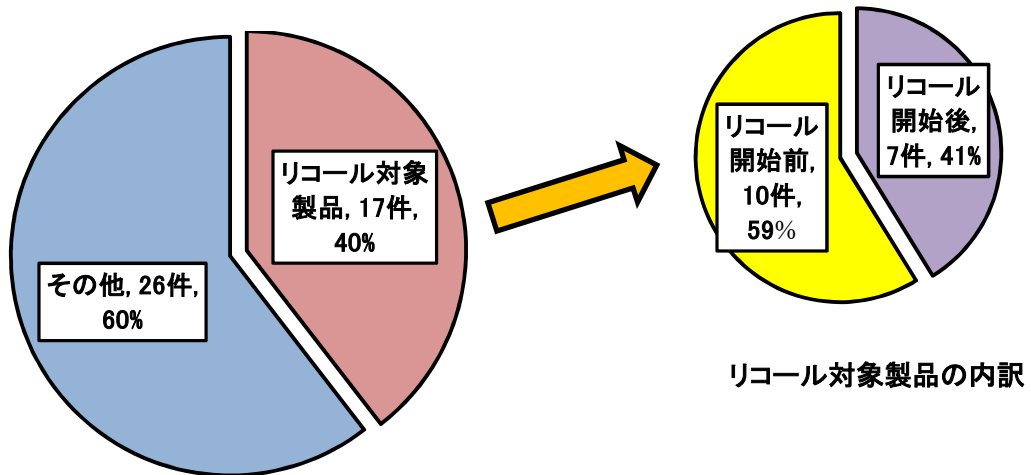


図4:九州・沖縄8県における LiB 製品の「リコール対象製品」による事故発生件数

(※5) 「その他」の中には型式や事業者が不明の製品も含まれるため、「その他」の全てがリコールの対象外とは限りません。

(6) 九州・沖縄8県における LiB 製品の事故発生時の使用状況別 事故発生件数

図5に九州・沖縄8県における LiB 製品の「事故発生時の使用状況<sup>※6</sup>」を示します。

LiB 製品の事故 43 件のうち、発煙・発火等を生じた製品が充電中であつた事故は 26 件 (61%) あります。

充電中に事故が発生する可能性が最も高いため、就寝時に充電する際などは、枕元に置かないなどの注意が必要です。

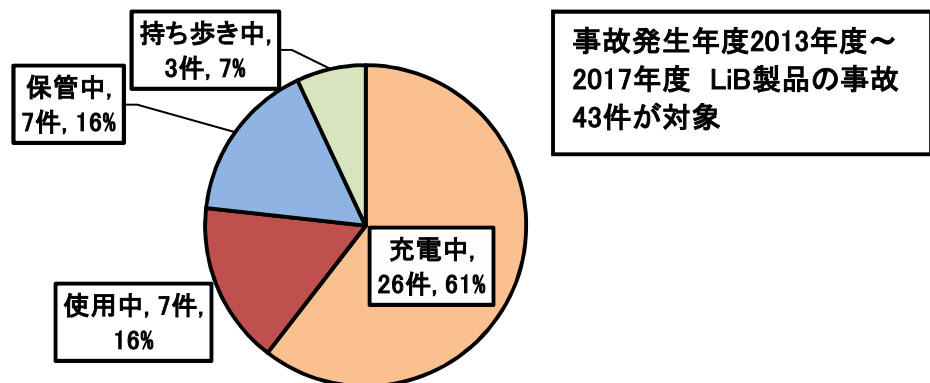


図5:九州・沖縄8県における LiB 製品の事故発生時の使用状況別 事故発生件数

(※6) モバイルバッテリー本体へ充電している際は「充電中」とし、モバイルバッテリーから電子機器へ給電する際は「使用中」としている。

## (7) 九州・沖縄8県における LiB 製品の事故発生場所別 事故発生件数

図6に九州・沖縄8県における LiB 製品の「事故発生場所」を示します。

LiB 製品の事故 43 件のうち、最も多い事故発生場所は自宅です。これは前ページ図5のとおり充電中に事故が発生しやすいためと考えられます。

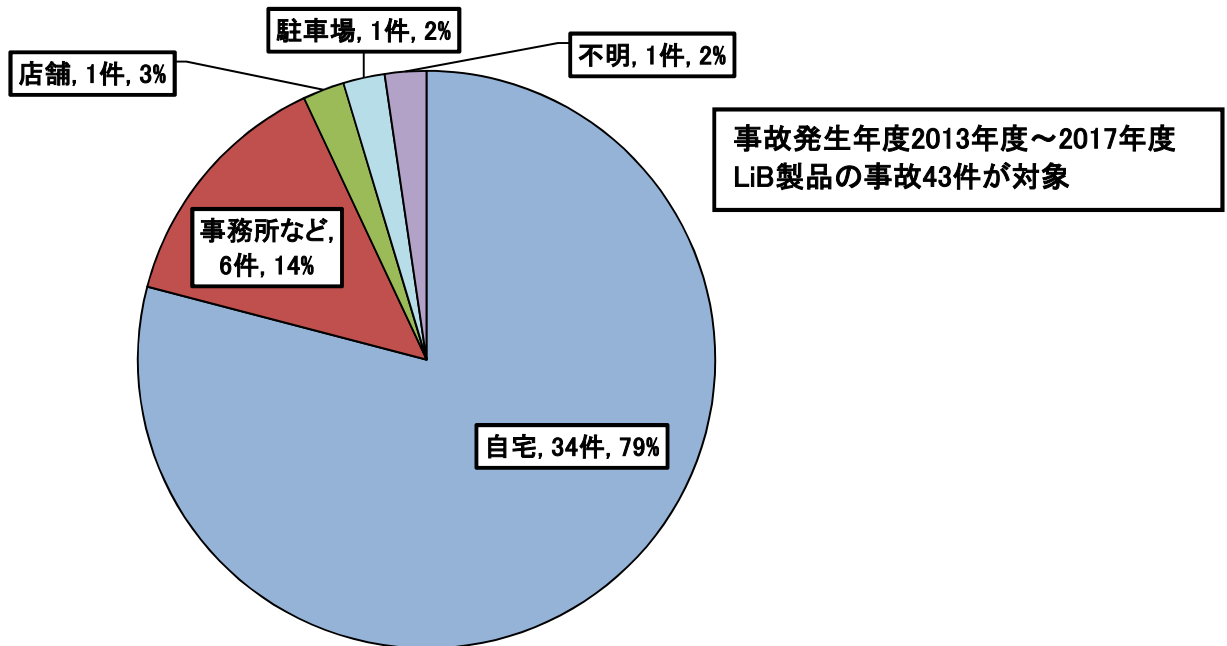


図6 九州・沖縄8県における LiB 製品の事故発生場所別 事故発生件数

## 2. LiB 製品による事故事例

九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故事例を示します。

### (ア) モバイルバッテリーの事故事例

2015年12月(福岡県、年齢不明、男性、拡大被害)

#### 【事故内容】

自宅のテーブルの上に置いていたモバイルバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故原因】

モバイルバッテリーの内蔵リチウム電池の不具合により、内部短絡を生じて出火したものと考えられる。なお、2014年7月よりリコールが行われていたが、使用者がリコール情報を把握していたかは不明である。

### (イ) ノートパソコンの事故事例

2017年6月(大分県、65歳以上、男性、製品破損)

#### 【事故内容】

事務所でかばんの中に入れていた、専用ケースに入ったノートパソコン及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故原因】

ノートパソコンのリチウムポリマー電池セルが異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。使用期間は3か月ほどである。

### (ウ) スマートフォンの事故事例

2015年6月(沖縄県、年齢不明、性別不明、拡大被害)

#### 【事故内容】

自宅のベッドの上で充電中のスマートフォンが焼損し、シーツが焦げた。

#### 【事故原因】

内蔵バッテリーの表面にシリコンオイルが付着した不具合品が混入したため、両面テープによる固定が不十分となり、使用時の振動等によってバッテリーの固定が外れて移動し、バッテリーの変形により内部短絡が生じて焼損したものと考えられる。

なお、2016年3月からリコールが行われ、製造事業者は、ダイレクトメール等で使用者に連絡し、製品の無償交換及び回収を行っている。

### (エ) ポータブル電源の事故事例

2017年6月(長崎県、65歳以上、男性、拡大被害)

#### 【事故内容】

ネット通販で購入したポータブル電源を自宅で充電中、異音が生じて発火し、周辺を焼損した。

#### 【事故原因】

バッテリーが内部短絡して異常発熱し、焼損したものと考えられる。事故は使用開始から3日ほどで発生した。

なお、輸入事業者は不明である。

### (オ) テレビチューナーの事故事例

2013年9月(福岡県、年齢不明、性別不明、拡大被害)

#### 【事故内容】

自宅で使用中のテレビチューナー付近から発火し、周辺を焼損した。

#### 【事故原因】

内蔵バッテリーの電極部で短絡が生じたため、異常発熱して焼損したものと考えられる。

なお、2013年10月からリコールが行われ、ブランド事業者及び製造事業者は製品の回収を行っている。



### 3. モバイルバッテリー

#### (1) 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの年度別 事故発生件数

2013年度から2017年度の5年間にNITEに通知されたモバイルバッテリーの事故件数は、九州・沖縄8県で13件です。

図7に九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの「年度別 事故発生件数」を示します。

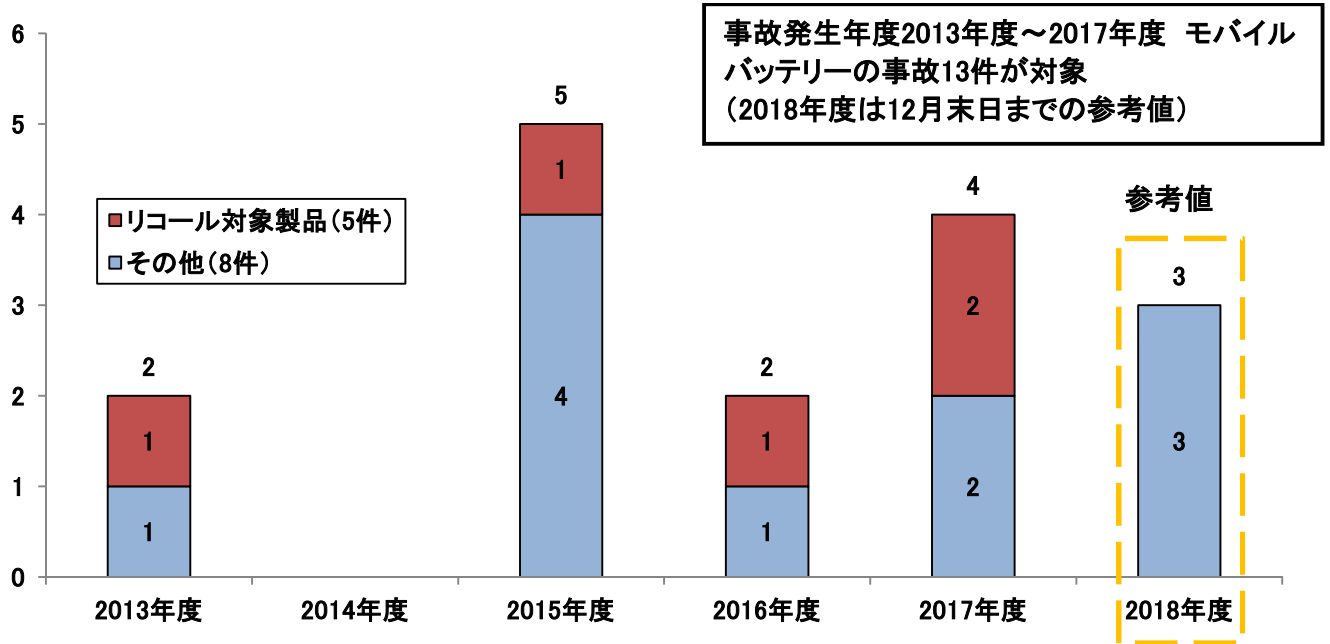


図7 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの年度別 事故発生件数

(2) 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーのリコール対象製品による事故発生件数

図8に九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの「リコール対象製品<sup>※5</sup>による事故発生件数」を示します。

モバイルバッテリー事故 13 件のうち、事業者が製品の交換や回収などのリコールを行っているものは 5 件(38%)あります。

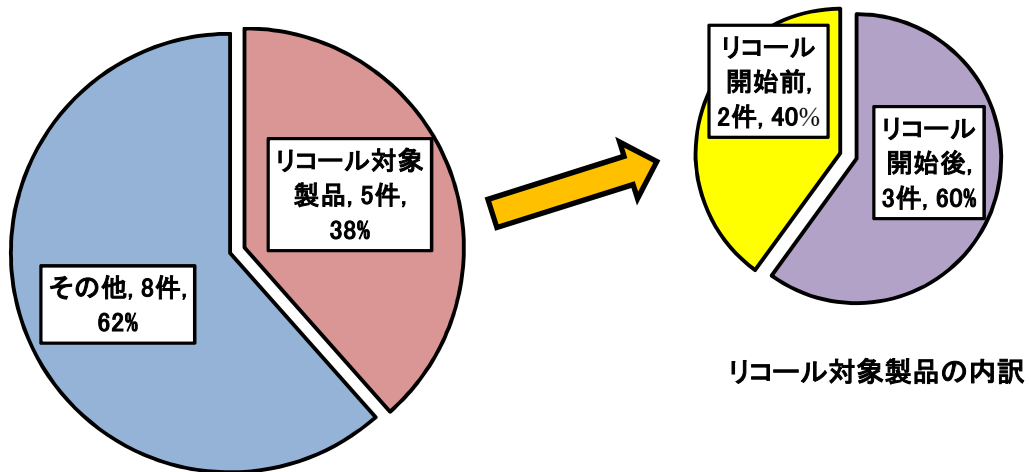


図8:九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーのリコール対象製品による事故発生件数

(※5) 「その他」の中には型式や事業者が不明の製品も含まれるため、「その他」の全てがリコールの対象外とは限りません。

(3) 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの事故発生時の使用状況別 事故発生件数

図9に九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの「事故発生時の使用状況<sup>※6</sup>」を示します。

モバイルバッテリーの事故 13 件のうち、発煙・発火等を生じた製品が充電中であった事故は 6 件(46%)あります。

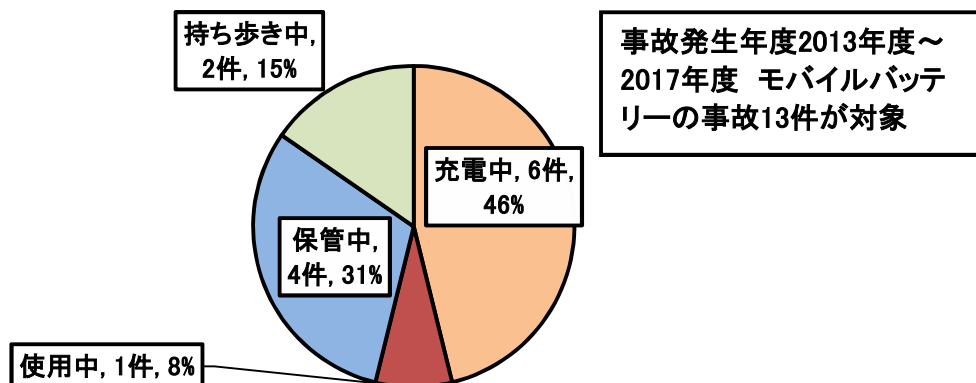


図9:九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの事故発生時の使用状況別 事故発生件数

(※6) モバイルバッテリー本体へ充電している際は「充電中」とし、モバイルバッテリーから電子機器へ給電する際は「使用中」としている。

## 4. LiB 製品の事故の実験映像の提供

LiB 製品の事故の実験映像の写真及び動画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。  
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

※nite ロゴ



(本件に関する問い合わせ先)

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
九州支所 製品安全技術課  
担当者 池谷、篠崎

電話:092-551-1315、FAX:092-551-1329  
[e-mail:iketani-akio@nite.go.jp](mailto:iketani-akio@nite.go.jp)  
[e-mail:shinozaki-kenzo@nite.go.jp](mailto:shinozaki-kenzo@nite.go.jp)

以 上

【別紙1】

2013 年度～2017 年度の 5 年間の九州・沖縄8県(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県)における LiB 製品の事故の各県別 各種事故発生件数を表2以降に示します。

(1. (1) 図1関係)

表2 九州・沖縄8県における LiB 製品の事故 各県別 年度別 事故発生件数

県名	年度別					合計	(参考) 2018 年度
	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度		
福岡県	7 [2]	2 [2]	3 [2]	1	3 [2]	16 (0) [8]	2
佐賀県						0 (0) [0]	
長崎県	1		1 [1]		2 (1) [2]	4 (1) [3]	4 (1) [4]
熊本県		2 [2]	2 [2]	2 [2]	4 [3]	10 (0) [9]	2 [1]
大分県					2 [2]	2 (0) [2]	
宮崎県					1 [1]	1 (0) [1]	
鹿児島県		1 [1]	1 [1]		2 (1) [2]	4 (1) [4]	
沖縄県			2 [1]	2 [2]	2 [1]	6 (0) [4]	
合計	8 (0) [2]	5 (0) [5]	9 (0) [7]	5 (0) [4]	16 (2) [13]	43 (2) [31]	8 (1) [5]

※ 2018 年度は 12 月末日までの参考値

※ 2018 年度 長崎県の被害者は軽傷。

【別紙2】

(1. (2) 図2関係)

表3 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 各県別 製品別 事故発生件数

製品名 県名	モバイル バッテリー	スマー トフォン	ノートパ ソコン	ラジコ ン	ポー タブル電 源	電動ア シスト 自転車	携帯 電話	LEDヘ ッドライ ト	タブレッ ト端末	電子 たばこ	カメ ラ用バッ テリー	スピー カー	テレビ チュー ナー	合計
福岡県	5 [4]	3	3 [1]	1 [1]	1 [1]		1				1 [1]		1	16 (0) [8]
佐賀県														0 (0) [0]
長崎県	1 [1]		1	1 (1) [1]	1 [1]									4 (1) [3]
熊本県	3 [3]	2 [2]	2 [2]	1 [1]		1 [1]			1					10 (0) [9]
大分県	1 [1]		1 [1]											2 (0) [2]
宮崎県	1 [1]													1 (0) [1]
鹿児島県	2 (1) [2]									1 [1]		1 [1]		4 (1) [4]
沖縄県		4 [2]	1 [1]					1 [1]						6 (0) [4]
合計	事故件数 13 被害者数 (1) 火災件数 [12]	9 (0) [4]	8 (0) [5]	3 (1) [3]	2 (0) [2]	1 (0) [1]	1 (0) [0]	1 (0) [1]	1 (0) [0]	1 (0) [1]	1 (0) [1]	1 (0) [1]	1 (0) [0]	43 (2) [31]

(1. (3) 図3関係、1. (4) 表1関係)

表4 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 各県別 事故原因別 事故発生件数

事故原因区分 県名	製品に起因する事故		製品に起因しない事故	原因不明のもの (G3を除くG)	調査中のもの(H)	合計	
	設計・製造又は表示などに問題があったもの(A)	製品起因であるが、その原因が不明であるもの(G3)					
福岡県	4 [2]	8 [4]		3 [1]	1 [1]	16 (0) [8]	
佐賀県						0 (0) [0]	
長崎県		2 [1]		2 (1) [2]		4 (1) [3]	
熊本県	2 [2]	3 [3]		4 [4]	1	10 (0) [9]	
大分県	1 [1]	1 [1]				2 (0) [2]	
宮崎県		1 [1]				1 (0) [1]	
鹿児島県		3 (1) [3]		1 [1]		4 (1) [4]	
沖縄県	2 [1]	3 [2]		1 [1]		6 (0) [4]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	9 (0) [6]	21 (1) [15]		11 (1) [9]	2 (0) [1]	43 (2) [31]

(1. (4) 表1関係)

表5 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 各県別 被害状況別 事故発生件数※4

被害状況 県名	人的被害			物的被害		被害なし	合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
福岡県				14 [8]	2		16 (0) [8]
佐賀県							0 (0) [0]
長崎県			1 (1) [1]	3 [2]			4 (1) [3]
熊本県				9 [8]	1 [1]		10 (0) [9]
大分県				1 [1]	1 [1]		2 (0) [2]
宮崎県				1 [1]			1 (0) [1]
鹿児島県			1 (1) [1]	3 [3]			4 (1) [4]
沖縄県				6 [4]			6 (0) [4]
合計	0 (0) [0]	0 (0) [0]	2 (2) [2]	37 (0) [27]	4 (0) [2]	0 (0) [0]	43 (2) [31]

(※4) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害にはカウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(1. (5) 図4関係)

表4 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 各県別 リコール対象別 事故発生件数

事故原因区分		リコール対象	リコール対象外	不明	合計	リコール前	リコール後	リコール対象小計
福岡県		7 [4]	9 [4]		16 [8]	3 [1]	4 [3]	7 (0) [4]
佐賀県					0 (0) [0]			0 (0) [0]
長崎県			2 (1) [1]	2 (1) [2]	4 (1) [3]			0 (0) [0]
熊本県		4 [4]	2 [2]	4 [3]	10 (0) [9]	3 [3]	1 [1]	4 (0) [4]
大分県		1 [1]	1 [1]		2 (0) [2]		1 [1]	1 (0) [1]
宮崎県				1 [1]	1 (0) [1]			0 (0) [0]
鹿児島県			4 (1) [4]		4 (1) [4]			0 (0) [0]
沖縄県		5 [3]		1 [1]	6 (0) [4]	4 [2]	1 [1]	5 (0) [3]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	17 (0) [12]	18 (1) [12]	8 (1) [7]	43 (2) [31]	10 (0) [6]	7 (0) [6]	17 (0) [12]



(1. (6) 図5関係)

表7 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 各県別 使用状況別 事故発生件数

年度別 県名	充電中	使用中	保管中	持ち歩き 中	合計
	福岡県	7 (0) [4]	4 (1) [1]	3 (0) [2]	2 (0) [1]
佐賀県					0 (0) [0]
長崎県	4 (1) [3]				4 (1) [3]
熊本県	7 (0) [6]	2 (0) [2]	1 (0) [1]		10 (0) [9]
大分県			1 (0) [1]	1 (0) [1]	2 (0) [2]
宮崎県			1 (0) [1]		1 (0) [1]
鹿児島県	4 (1) [4]				4 (1) [4]
沖縄県	4 (0) [3]	1 (0) [1]	1 (0) [1]		6 (0) [4]
合計	26 (2) [20]	7 (0) [4]	7 (0) [5]	3 (0) [2]	43 (2) [31]

(1. (7) 図6関係)

表8 九州・沖縄8県におけるLiB製品の事故 各県別 事故発生場所別 事故発生件数

年度別 県名	事故発生場所別					合計
	自宅	事務所 など	店舗	駐車場	不明	
福岡県	12 [5]	1 [1]	1 [1]	1 [1]	1	16 (0) [8]
佐賀県						0 (0) [0]
長崎県	2 (1) [2]	2 [1]				4 (1) [3]
熊本県	9 [8]	1 [1]				10 (0) [9]
大分県	1 [1]	1 [1]				2 (0) [2]
宮崎県	1 [1]					1 (0) [1]
鹿児島県	4 (1) [4]					4 (1) [4]
沖縄県	5 [3]	1 [1]				6 (0) [4]
合計	34 (2) [24]	6 (0) [5]	1 (0) [1]	1 (0) [1]	1 (0) [0]	43 (2) [31]

(3. (1) 図7関係)

表9 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの事故 各県別 年度別 事故発生件数

県名	年度別						合計	(参考) 2018 年度
	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度			
福岡県	2 [1] (1)		2 [2] (1)		1 [1] (1)	5 [4] (3)		
佐賀県						0 [0] (0)		
長崎県			1 [1]			1 [1] (0)	2 [2]	
熊本県			1 [1]	2 [2] (1)		3 [3] (1)	1 [1]	
大分県					1 [1] (1)	1 [1] (1)		
宮崎県					1 [1]	1 [1] (0)		
鹿児島県			1 [1]		1 [1]	2 [2] (0)		
沖縄県						0 [0] (0)		
合計	2 [1] (1)	0 [0] (0)	5 [5] (1)	2 [2] (1)	4 [4] (2)	13 [12] (5)	3 [3] (0)	

※ 2018年度は12月末日までの参考値

※ モバイルバッテリーの事故で、人的被害は軽傷1件(2017年度、鹿児島県、リコール対象外)

※ 2018年度 モバイルバッテリーの事故で、人的被害は軽傷1件(長崎県、リコール対象外)

(3. (2) 図8関係)

表4 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの事故 各県別 リコール対象別 事故発生件数

事故原因区分		リコール対象	リコール対象外	不明	合計	リコール前	リコール後	リコール対象小計
福岡県		3 [3]	2 [1]		5 [4]	1 [1]	2 [2]	3 (0) [3]
佐賀県					0 (0) [0]			0 (0) [0]
長崎県			1 [1]		1 (0) [1]			0 (0) [0]
熊本県		1 [1]		2 [2]	3 (0) [3]	1 [1]		1 (0) [1]
大分県		1 [1]			1 (0) [1]		1 [1]	1 (0) [1]
宮崎県				1 [1]	1 (0) [1]			0 (0) [0]
鹿児島県			2 (1) [2]		2 (1) [2]			0 (0) [0]
沖縄県					0 (0) [0]			0 (0) [0]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	5 (0) [5]	5 (1) [4]	3 (0) [3]	13 (1) [12]	2 (0) [2]	3 (0) [3]	5 (0) [5]

(3.(3) 図9関係)

表11 九州・沖縄8県におけるモバイルバッテリーの事故 各県別 使用状況別 事故発生件数

年度別 県名	充電中	使用中	保管中	持ち歩き 中	合計
	福岡県	1 [1]		2 [2]	2 [1]
佐賀県					0 (0) [0]
長崎県	1 [1]				1 (0) [1]
熊本県	2 [2]	1 [1]			3 (0) [3]
大分県			1 [1]		1 (0) [1]
宮崎県			1 [1]		1 (0) [1]
鹿児島県	2 (1) [2]				2 (1) [2]
沖縄県					0 (0) [0]
合計	6 (1) [6]	1 (0) [1]	4 (0) [4]	2 (0) [1]	13 (1) [12]

## 九州・沖縄 8 県トピックス

2013 年度～2017 年度の九州・沖縄8県(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県)におけるネット通販で購入した LiB 製品の事故発生件数を表12に示します。5 年間で 7 件発生していますが、いずれも製造事業者及び輸入事業者が不明であり、軽傷事故が2件(軽傷者2名)発生しています。

ネット通販で購入する場合は、製造事業者や輸入事業者が確かな製品を購入するようにしましょう。

表12 九州・沖縄8県におけるネット通販で購入したLiB製品の事故 各県別 製品別 事故発生件数

県名	年度別		モバイル バッテリー	ラジコン	ポータブル電源	LEDヘッドライト	合計
	2013年度	2014年度					
福岡県	1	[0]					1 (0) [0]
佐賀県							0 (0) [0]
長崎県				1 (1) [1]	1 (0) [1]		2 (1) [2]
熊本県	1	[1]					1 (0) [1]
大分県							0 (0) [0]
宮崎県	1	[1]					1 (0) [1]
鹿児島県	1 (1) [1]						1 (1) [1]
沖縄県						1 [1]	1 (0) [1]
合計	事故件数 被害者数 火災件数		4 (1) [3]	1 (1) [1]	1 (0) [1]	1 (0) [1]	7 (2) [6]